

平成19年度の主な事業

# 行政改革と 新しいまちづくりの スタート



▲防災情報が有線放送されている竹野・但東地域に、災害に強い防災行政無線を整備します



▲消防本部内に高機能指令センターを整備し、指令管制や情報伝達の強化などを図ります

平成19年度予算は、行政改革大綱策定後の初年度で総合計画の初年度でもあることから、改革を着実に実現するとともに、新しいまちづくりに踏み出した予算として編成しました。

総合計画に定める多くの施策の実現のために、行革などによって生み出した限りある貴重な財源を防災・福祉・環境・商工・観光・教育など各分野にわたり、その礎を構築します。

なお、19年度に計画している事業・施策のうち、新規事業を中心に紹介します。

※(年度)…完成予定年度

安全に安心して暮らせます

- 豊岡盆地の地盤沈下の検討 310万円  
軟弱地盤帯でもある豊岡盆地の地盤沈下について、委員会を設置して、現状把握を行います。
- 竹野・但東地域へ防災行政無線の整備 2億1016万円  
竹野・但東地域への防災行政無線の整備に向け、中継局・遠隔制御装置・個別受信機などを設置します。(20年度)

- 自主防災の育成 728万円  
自主防災組織のリーダー育成や訓練の実施と資機材整備に対する補助を行います。

- 高機能指令センターの設置 5億3810万円  
消防本部に、119番通報受付や無線などの回線を一括集約できる高機能指令センターを設置します。
- 日高分署の高規格救急車等の更新 2918万円  
消防署日高分署の高規格救急車と高度救命処置用資器材を更新します。

- 高度救急活動資機材等の購入 109万円  
小児に対する除細動を救急現場でいち早く実施するため小児用除細動器を購入します。また、市民が行う応急手当の新基準に対応した訓練用資機材を購入します。

- 総合健康ゾーンの整備 2843万円  
豊岡病院跡地に、市の健康増進施設の中核的機能を持つ総合健康ゾーンを整備します。(21年度)

- 後期高齢者医療制度の創設準備 3285万円  
平成20年度から始まる75歳以上の方などを対象にした後期高齢者医療制度の創設に向けて準備します。

- 乳幼児医療費の助成 1億4364万円  
県の制度改正を受け、支給要件を現行の義務教育就学前から小学3年生までへと拡充して助成します。

- 児童手当の給付 6億9598万円  
国の制度改正を受け、3歳未満の乳幼児に対する児童手当月額を一律1万円として給付します。

人と自然が共生できます

- (仮称)戸島湿地の整備 3521万円  
円山川下流域の城崎町戸島に、コウノトリが舞い降りることができる湿地を整備します。(20年度)
- コウノトリと共生する農村環境整備事業の実施 2486万円  
コウノトリと共生する水田や餌場環境づくりを継続して推進するとともに、実績をもとに魚道やほ場に魚類生態区域を設置し、その効果を検証します。

- コウノトリツリーゾムの推進 248万円  
コウノトリツリーゾムガイドの養成講座の開催や体験プログラムを開発し実施します。

- 地域まるごと博物館の整備 5420万円  
地域まるごと博物館整備の一環として、コウノトリの郷公園の駐車場を拡充するとともに、太陽光発電設備や案内サインなどを設置します。

- バイオマスタウンの推進 945万円  
菜種から搾油して学校給食センターで利用し、廃食油は公用車などの燃料として再利用します。また、間伐材等のバイオマス資源を燃料とするペレットストーブを公共施設に配置します。

- 空き容器回収機設置の補助 675万円  
ごみの減量化・資源化に向けて、商店組合や小売企業等の空き容器回収機設置に対し補助します。

持続可能な「力」を高めます

- 移動通信用鉄塔施設の整備 7040万円  
竹野町三原地区と但東町赤花地区に移動通信(携帯電話)用鉄塔施設を整備します。
- (仮称)木屋町小路の整備 3億9893万円  
城崎温泉街の木屋町に、にぎわいを創出するテナントと、イベントなども開催できるオープンスペースを整備します。(20年度)

- 湯の原温泉オートキャンプ場の整備 4568万円  
湯の原温泉オートキャンプ場に遊歩道と親水広場などを整備します。



▲妊娠21週以前も新たに妊婦健康診査の助成対象とし、母子保健の充実を図ります



▲バイオメタン構想に基づき、菜の花を栽培し、食用油や公用車の燃料などに利用します



▲平成21年度完成を目指して豊岡病院跡地に総合健康ゾーンを整備します



▲基礎学力・基礎体力パワーアップ作戦の一環として、幼稚園・保育園に運動遊びを本格導入します



▲国の「伝統的建造物群保存事業」により出石城下町の伝統的な町並み景観の保全に取り組みます



▲コウノトリが舞い降りることができる湿地を円山川下流域の城崎町戸島に整備します

- (仮称)但東北部温泉施設の整備 2億937万円  
但東町坂野地区に但東北部温泉の泉源を利用した温泉施設を整備します。(20年度)
- 阿金谷轟線の整備 9000万円  
竹野地域において、県道日高竹野線の災害時の代替道路・バイパス道路として阿金谷轟線を整備します。
- 大開一日市線の整備 2億円  
国道178号バイパスと主要地方道豊岡港線を結ぶ道路として、大開一日市線(総延長450メートル)を整備します。(21年度)
- 外国人漁業研修生の受入 250万円  
外国人漁業研修生の受入れを通じ、漁業の国際化に応じた国際貢献に寄与するとともに漁船漁業の活性化を図ります。
- 伝統的建造物群保存事業の実施 611万円  
出石城下町の伝統的な町並み景観を保全するため、伝統的建造物群保存地区の都市計画決定や保存計画の策定などに取り組みます。
- 妊婦健康診査費の助成拡大 2419万円  
妊婦健康診査費用の助成対象者を後期健診のみから、妊娠21週以前の前期健診を受診した妊婦にも拡大します。
- 多子世帯保育料の軽減拡大 2156万円  
同一世帯から保育所のほかに幼稚園や認定こども園を利用している児童も対象人数に含め、2人目以降の保育料の軽減を拡大します。
- 放課後子ども教室の開設 581万円  
子どもたちが放課後や休日などに学年の異なる友達と遊んだり、地域の人々と交流できる放課後子ども教室を地区公民館などに開設します。
- 体力パワーアップなど学校教育の推進 430万円  
教育行動計画の体力パワーアップ大作戦に基づき、幼児期の運動遊び、小中学校での体力づくりや確かな学力の定着を目指し、小中学校の連携教育を推進します。

未来を拓く人を育むまち

- 子どもの安全確保対策 263万円  
児童の安全を守るため、小学校新1年生に防犯ヘルを配布し、不審者への注意の呼びかけを行います。
- 幼保対策審議会の設置 134万円  
将来の保育園と幼稚園のあり方について審議会を設置し、アンケートなどを実施します。
- 図書ネットワークの整備 5271万円  
城崎総合支所に図書館城崎分館を整備し、ネットワーク化を図ります。
- 子どもの野生復帰事業の実施 1157万円  
リーダーを養成するための自然体験学校、野外キャンプなどの実施やフォーラムなどを開催します。
- 地区公民館の整備 3億4200万円  
寺坂(新築)・港・田鶴野・清滝・高橋(以上改修)・城崎・弘道地区公民館(以上庁舎利用)を整備します。
- 永楽館の整備 1億6080万円  
出石城下町の更なる魅力づくりのため、近畿に唯一残る芝居小屋「永楽館」を復原します。(20年度)
- 空家・空地などへの定住推進 1300万円  
田舎暮らし志向の都市住民の受け皿として、但東の資母地区で空家・空地の現況や所有者の意向などを調査し、台帳を作成します。
- 市歌の制定 306万円  
市民の一体感、連帯感を深めるため、市のシンボルソングとなる市歌を制定します。
- 新庁舎建設の推進 571万円  
新庁舎建設の基本構想と基本計画の策定と庁舎位置を定めるための検討委員会を設置します。
- 総合計画(概要版)の配布 325万円  
市のまちづくりの指針となる総合計画を冊子として作成し、概要版を全世帯へ配布します。
- 参画と協働の推進 34万円  
市民の参画と協働を推進するためのガイドライン(手引書)を作成します。

人生を楽しみお互いを支え合うまち

基本計画の実現に向けて